

日本・リヒテンシュタイン公国 友好99周年記念コンサート
2018年 第13回 SWISS WEEK

Mathis Berenter

マティス・ベロイター ピアノ・リサイタル

岩手県久慈市

2018年3月12日(月) 18:30開演

アンバーホール (小ホール)

共催：久慈市教育委員会

チケット取り扱い▶

アンバーホール tel: 0194-52-2700

二戸ショッピングセンターニコア tel: 0195-23-5000

八戸ショッピングセンターラピア tel: 0178-47-1111

山形県長井市

2018年3月13日(火) 18:30開演

長井市民文化会館大ホール

後援：長井市、長井市教育委員会、山形新聞・山形放送

チケット取り扱い▶

長井市民文化会館 tel: 0238-84-6051

長井タスパークホテル tel: 0238-88-1833

新潟県新潟市

2018年3月15日(木) 18:30開演

新潟市音楽文化会館ホール

共催：新潟市

チケット問い合わせ▶

新潟市音楽文化会館 tel: 025-224-5811

チケット取り扱い▶

新潟市民芸術文化会館、江南区文化会館、秋葉区文化会館
北区文化会館、ヤマハミュージック新潟店

熊本県菊池市

2018年3月18日(日) 15:00開演

泗水ホール

熊本地震菊池溪谷復興支援コンサート (入場無料)

※先着受付順に入場整理券を配布いたします

後援：菊池市、菊池国際交流協会

お問い合わせ▶

菊池市市長公室(上田) tel: 0968-25-7200

入場料
2500円

前売り開始
2018年
1月15日



※開場は、全公演開演の30分前です。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

◀◀ 原 萌葵
(横浜公演のみ特別出演)

神奈川県横浜市

2018年3月20日(火) 19:00開演

みなとみらい小ホール

第一部：原萌葵 (特別出演 ピアノ)

第二部：マティス・ベロイター ピアノ・リサイタル

チケット問い合わせ▶

中嶋 tel: 090-4544-1495

チケット取り扱い▶

みなとみらいホールチケットセンター

(窓口販売のみ10~19時)

主催

若手音楽家育成
アヤメ基金

協賛

日本リヒテンシュタイン友好協会

面談ある、おいしき、
中外製薬(株) 六甲バター CHOYA

後援

JAPAN FOUNDATION



在日スイス大使館

国際交流基金

スイス・日本協会

関西スイス日本協会



Musik Akademie Basel

マティス・ベロイター

1993年生まれのアustria/ドイツのピアニスト、マティス・ベロイターはスイスのバーゼル音楽大学に12歳で入学し、Adrian Oetiker氏に師事、その傍ら即興をRudolf Rutz氏に学んだ。2013年春より、ベルリン音楽大学にてKlaus Hellwig氏の下で研鑽を積んでいる。またAnne Queffelec、Zoltan Kocsis、Piotr Anderszewski、Alexandar Madzar各氏のマスターコースに参加した。室内楽への情熱も深くJ.G. Queyras、F. Helmerson、J.P. Maintz、I. Monighetti、T. Svane、T. Demenga、C. Brotbek、N. Chastain、Artemis Quartetの各氏からも多大な影響を受けた。

2015年インターナショナルピアノClavicologneコンクール特別賞、2016年メンデルスゾーンコンクール委嘱曲最優秀演奏賞、2017年に予定されているブゾーニコンクール本選参加決定により、マティスは世界的に注目されることになった。ドイツ連邦青少年コンクール(2007-2010)では多くの1位を受賞、ドイツ音楽協会より特別賞、シンメル社よりDiethard-Wucher賞、スイス・ミグロスカルチャー奨学賞等を受賞。

2005年のオーケストラとの協演デビュー以来、世界の主要ホールでコンサートを行っている。その他ブラウンシュヴァイククラシック音楽祭、ダンネンベルクの春、グシュタート音楽サミットをはじめとする音楽祭にも出演、その様子は新聞評でも称賛された。

「ベロイターは単に楽譜を鮮明で的確に弾くだけでなく、このロマン派の曲の心髄を存分に表現した。期待される才能である。」
(David Karlin, 2013年2月8日、Gstaadにて)

数回にわたる日本ツアーのリサイタルでは、ミューザ川崎シンフォニーホール、京都コンサートホール、大阪フェスティバルホール、東京ヤマハホールで演奏、また2015年には京都インターナショナル音楽学生フェスティバルに招待された。マティスの演奏活動の様子はドイツの放送局DRS2、SWR、及び日本のラジオテレビ局により放送された。

ドイツ国民学生協会奨学生、アヤメ基金支援、またドイツ・バーデンヴュルテンベルク州より再度の育英賞を受けている。

プログラム

F. シューベルト 『3つのピアノ曲』

Franz Schubert (1797-1828)
Drei Klavierstücke D 946 (1828)
Allegro assai - Allegretto - Allegro

M. ベロイター 『日の出』

Mathis Bereuter (1993*)
Soluppgång (2017)

- 休憩 Pause -

S. ラフマニノフ 絵画的練習曲《音の絵》

Sergei Rachmaninow (1873-1943)
Études-Tableaux Op.39 / Op.33

作品39 第5番 *Appassionato*
第2番 *Lento assai*
第1番 *Allegro agitato*

作品33 第2番 *Allegro*
第3番 *Grave*
第7番 *Allegro con fuoco*
第8番 *Moderato*
第9番 *Grave*

※事情により曲目は変更になる場合がございます。
予めご了承ください。



Photo © Tom McKenzie

原萌葵:ピアノ

1995年神奈川県生まれ。5歳よりピアノを始める。第4回コンコルト MusicArte ステッラ部門グランプリオ、第15回日本演奏家コンクール 高校の部にて第1位、併せて横浜市長賞、神奈川県新聞社賞受賞。第30回かながわ音楽コンクールにて高校の部最優秀賞、神奈川県新聞社社長賞、コンチェルト賞を受賞。2014年、神奈川県フィルハーモニーとラフマニノフ ピアノコンチェルト第2番を共演する。2014年に東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を卒業。卒業後渡独し、ライブツピ音楽演劇大学を経てロストック音楽演劇大学修士課程に在籍中。これまでに日比谷友妃子、東誠三、ゲラルド・ファウト、バルント・ツァックの各氏に師事。

【横浜公演のみ特別出演】

L.v. ベートーヴェン (1770-1827): ピアノソナタ17番「テンペスト」d moll, op.31-2
M. ラヴェル (1875-1937): 夜のガスパール 1. オンディーヌ、2. 絞首台、3. スカルボ



A 若手音楽家育成 アヤメ基金

「若手音楽家育成アヤメ基金は、スイス・バーゼル在住の野川等(のがわひとし)が中心となり、音楽家育成および国際文化交流の促進を支援する目的で、2008年12月に創設しました。歴史的に音楽家活躍の舞台となっているスイス、特にバーゼルの音楽大学「スコラ・カントルム」は、古楽の教育・研究と普及に貢献している機関として世界に名高く、豊かな才能を持つ多くの学生が学んでいます。「アヤメ基金」は、このようなバーゼルの秀逸な環境を活かし、篤い志のもと地道な活動を展開します。

若手音楽家育成アヤメ基金は、皆様のご支援から成り立っております。

<http://ayame-foundation.com/>

理事長 野川 等 会社役員
理事 国松 孝次 元スイス大使
佐藤 来 会社役員
アレクサンドラ・N・シュテヘリン 会社社主
高久 暁 日本大学芸術学部教授
田口 博雄 法政大学大学院政策科学研究科教授
田中 哲二 中央アジア・コーカサス研究所所長
福井 俊彦 元日本銀行総裁
山下 道子 音楽学専門
事務局 久野 瑞枝

募金先銀行口座

三井住友銀行 東京営業部(普通)9756441 若手音楽家育成アヤメ基金 代表 多賀谷 周
タガヤ マコト